

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
出流原PA周辺開発の推進	出流原PA周辺総合物流開発整備の推進	1	出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業

事務事業名		出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	市街地整備課
	政策	1 産業振興で活力あるまちづくり					担当係	出流原PA周辺開発係	担当課長名	三関 純一	
	施策	2 出流原PA周辺開発の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 出流原PA周辺総合物流開発整備の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1392	一般	2	1	7	出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	30年度～令和3年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業			市単独事業
								任意的事業・義務的事業			任意的事業
								実施方法			一部委託
								事業分類			施設等整備事業
								リーディングプロジェクト			該当
								市長市政公約			1-①-1

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
北関東自動車道出流原PA周辺にインランドポートを核とした物流産業団地等の拠点整備を目指す出流原PA周辺総合物流開発整備構想エリアAゾーンの整備に向けた取り組みを行う。		Aゾーンの現地を把握するために地形の測量及び境界の確認を実施した。また、基本計画(Aゾーン)を基に、基本設計業務を実施したが台風の影響により、請負業者が災害復旧の業務を優先して従事するため、年度内の完了が見込めないことから繰越となった。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
関係機関との協議回数		回	0	15	10	10	10
業務委託発注件数		件	1	0	2	1	4

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

出流原PA周辺総合物流開発整備構想エリアAゾーン	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	構想エリアAゾーン	ha	14.1	10.8	10.8	10.8	10.8

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

Aゾーン整備の事業化	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	事業化件数	件	-	1	-	-	-

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

出流原PA周辺総合物流開発整備構想エリアAゾーンを総合物流拠点として開発する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	開発整備事業の進捗率	%	0	5	13	30	50

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳		H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	単位											
事業費	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円							6,000			
	一般財源	千円		106	13,580	24,603	25,615	37,765				
	事業費計(A)	千円		106	13,580	24,603	31,615	37,765				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費	6	報償費	0	旅費	0	需用費	30	需用費	30
			役務費	30	旅費	4	需用費	0	委託料	31,585	役務費	1,820
			委託料	50	需用費	292	委託料	24,603			委託料	35,915
使用料及び賃借料			21	委託料	13,284							
人件費	人	3	3	3	3	3	3	3	3			
のべ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
人件費計(B)	千円	3,816	3,821	3,815	3,815	3,815	3,815	3,815	3,815			
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,922	17,401	28,418	35,430	41,580						

事務事業名	出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業	担当部	都市建設部	担当課	市街地整備課	担当係	出流原PA周辺開発係
-------	---------------------	-----	-------	-----	--------	-----	------------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年4月に「出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針」が策定され、平成28年3月には、開発の骨子となる「出流原PA周辺総合物流開発整備に関する基本構想」を策定し、AからFゾーンまでの構想エリアを示した。このことから、出流原PA周辺総合物流開発整備Aゾーンの整備を推進するため、地形測量、基本設計策定を実施した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国全体で人口減少問題が提起されるなか、地域創生を推進するため、平成27年12月に「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。総合戦略の基本目標の1つである「安定したしごとをつくる」では、本市の立地優位性を活かし、産業基盤の整備や企業誘致等を進めて行くとしている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会の一般質問において、地方創生を推進し、安定した雇用を創出するためにも、事業を推進するべきとの意見があった。また、地元説明会では、「関心の高い事業なので、これから住民説明会などの周知をお願いしたい。」との意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	平成29年度に策定した基本計画を基に、事業費の圧縮に向けて基本設計の中で見直しを図っている。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	出流原PA周辺総合物流開発整備を推進するための事業であり、施策の一つである「出流原PA周辺開発の推進」に大きく貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	民間開発の可能性も視野に入れるが、事業実施の確実性を考慮すると、市が主体的に事業の推進を図る必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	事業目的が事業(構想)の推進であるため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	基本設計の中で事業費の圧縮を図り、今後は市を事業主体として、計画的に事業を推進し、民間開発となった場合は柔軟に対応する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費、人件費の削減は、調査・検討などの事業進捗に支障をきたすこととなるため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	出流原PA周辺総合物流開発整備事業は、企業を誘致し、雇用の創出と経済の伸展による地域振興を目的としていることから、受益者は市民となり、個別に特定されないため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	推進事業が造成事業へ移行した段階で終了となり、新たに造成事業を開始する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					